

令和3年7月9日

第3学年保護者 様

荒川区立第三中学校長
小柴 憲一

修学旅行の実施にあたって

昨日は、急遽、保護者配信メールにてアンケート回答の依頼をし、申し訳ございませんでした。

16時までのご回答をお願いしたところ、登録者数の236人のうち(ご家族で複数人の方が登録しているため在籍生徒数よりも多くなります)ご回答率は62.3%でした。そして、そのうち「実施した方がいい」が82.3%、「見合わせた方がいい」が17.7%であったことを教育委員会に報告いたしました。

その結果、「十分な感染防止策を講じたうえで実施すること」との指導をいただきましたので、これまで子どもたちが学習してきた内容や立ててきた計画をもとに、7月11日(日)～13日(火)で修学旅行に行つてまいります。

ただし、今回のアンケートの結果を見て、「見合わせた方がいい」と回答された保護者の方が17.7%いらっしゃるということ、私たち教職員は重く受けとめなければならないと感じました。「緊急事態宣言が発出されようがされまいが、この時期に大人数で移動すること自体を自粛すべきだ」「国民みんなであつらい思いをしているときに、中学生だって例外ではない」「京都・奈良は人が少なく東京よりも感染リスクは低いとは言っても、この地域にずっといる方がリスクは低い」「子どもには基礎疾患があるため何としても感染させてはならない」「家族の管理下を離れさせることが無性に心配である」「緊急事態宣言が発出されるということは、公立学校は範を示す立場にあるのではないか」など、自由記述があつたわけではありませぬし、そのようなお声をいただいたわけではございませぬが、多様なご意見はあつたのではないかと感じます。

お子さんが行きたがつているから、参加申込書を出されていたとしても、保護者の方ご自身は慎重派であつたり反対であつたりする場合があること、そのような保護者の方のお子さんをお預かりして、修学旅行に引率してくるということ、私たち教職員は改めて認識し、けがをして参加している子ども、食物アレルギーのある子ども、基礎疾患のある子どもなど様々な諸事情のある子どもをはじめとして、全員をお預かりした状態でご家庭にお返ししなければならない責任を強くもたなければならないと感じました。

また、未回答率は37.7%となっておりますが、「決定した方針に協力するから」という理由はほとんどないのではないかと感じます。また、単に「家族の誰かが回答するから回答しない」という理由以外に、「そもそも仕事で忙しくてメールなどを見る余裕すらなかつた」「メールを見たけど、仕事で考える気持ちのゆとりがなかつた」「いきなりそのような質問をされても考える材料が少なすぎた」「そのような質問を保護者にするか自体が間違っているのであつて、責任をもって決定するのが学校の職務だ」「アンケートを採つた後の決定方針が説明されていないのに回答する意味がない」など、こちらもお声をいただいたわけではございませぬが、そのようなお考えはあつたのではないかと感じます。いずれにしても、私たち教職員は、様々なご意見があるということを真摯に受けとめ、今後の教育活動に取り組んでいかなければならないと感じました。

「保護者の皆様すべてが学校教育に関心をもっているわけではない」「関心をもつてもらうようにするのが学校経営である」という認識を新たにもつて邁進してまいりたいと感じます。

最後にお願ひですが、出発まで、あと2日間となりました。お子様の健康管理につきまして引き続き徹底していただき、安全な修学旅行になるようご協力をお願いいたします。

【担当】荒川区立第三中学校 副校長 中島 成男
TEL:03-3801-5808